

そのためには、大阪市育成会に課せられた社会的使命を明文化し、それを法人内に浸透させ、外部へのお知らせができればと考えています。そして大阪市育成会が持っている価値の向上や他法人との差別化に繋がった時には、現在抱えている課題も解決に向けて少しずつですが、近づいていけるのではないかと思います。

私のおススメ：定年後の居場所づくり

自身の定年後の居場所づくりということで、大阪市でいうところの校区社会福祉協議会と校区青少年福祉委員会のお手伝いをしています。そこでは民生委員さんや青少年指導員さんと一緒になって、サポートが必要な方の居場所づくりや子どもたちの見守りについて、社会福祉協議会の職員さんや地縁団体の皆さんと考えています。このような感じで半分仕事みたいな事をしてお休みをすごしています。



【校区の課題検討会でまとめ発表をしているところ】

東成育成園 管理者 長谷 弥朋

今年度の抱負&

私のおススメ：散歩

令和6年度も引き続き東成育成園の管理者を拝命いたしました長谷です。今年度もよろしく願いいたします。

さて、年度当初のふれあいのあいさつの内容で「私のおすすめ（仕事以外の得意分野や取組んでいること）」とお題を頂きました。その際にフッと気が付いたのですが、特に得意なことや人にお勧めできるほどのめり込んでいるものが無いということに気が付きました。昨年と同じになりますが、散歩が好きなので私なりの楽しみ方を紹介します。

あまりたくさん人が歩いていない場所で、電柱の張り紙や植えている植物、その場所の住宅の雰囲気などを感じながら、健康の事や体力維持の事などまったく気にすることなく歩くのが好みます。同じルートを歩いても今まで気が付かなかったものに気が付いたり、つぼみが開いたなど、今までとは違う変化を見つけると楽しい気分になります。

新しい発見や小さな変化を見つけることの楽しさは、利用者の皆さんとのかかわりの中でも感じる事が多く、仕事をしていて楽しく感じる場所でもあります。毎日同じようにかかわり、接していても、少し難しいかなと思っていたことが、小さなステップにすることで、少しずつ出来るようになってきたことに気が付くなどが、仕事のやりがいに繋がっていると感じています。

今年度も利用者の皆さんの小さな変化を見守りながら、利用者の皆さんが自身の生活を自分で決めることができ、今後もその人らしい生活が実現することが出来るよう支援を行ってまいります。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。



【新しい発見や小さな変化を楽しみながら…の散歩】

東成区障がい者基幹相談支援センター

管理者 石橋 孝治

今年度の抱負

妖怪へんげと言いますが、変化（へんげ）はへんかとも読みます。私たちの時代とは違い、少し前にはありませんが、妖怪ウォッチというものはやり、おどろおどろしいものから、かわいらしいものに変化しているようです。

変化と言えば、今年度、当事業所は大きく変化のある年となります。

まず一つ目の変化は、この4月から二人のスタッフが新たに勤務する事です。地域で相談支援専門員として、長く経験を積まれたお二人で非常に頼もしい仲間となります。

二つ目の変化は、現在は東成育成園の中で相談支援事業を行っていますが、東成区障がい者基幹相談支援センターは大阪市からの委託事業であり、地域のものであるという性質から、東成区育成園からの外だしを今年度行うこととなった事です。移転の準備を少しずつ進めている所ですが、移転先は本体事業所や区役所、駅から近くて立地等もよく、今以上に区民が相談に来